

白夜に燃える、
北欧の鼓動。



北欧・スウェーデンの

夏至祭



2025



スウェーデン伝統音楽の最高峰、ヴェスタノー劇場から
ヴェスタノー・バンド初来日!

夏至の太陽が、生きた音になる。

スウェーデン西部・ノルウェー国境に広がるヴェルムランドから、マグヌス・スティネルボム率いる“ヴェスタノー・バンド (Västana Band)”が遂に来日。その音は、まさに鼓動そのもの。彼らの音楽は美しさを超え、語り、叫び、ささやき、祈る。感情すべてを“音”に乗せてぶつけてきます。スウェーデンの伝統音楽を礎としながらも、ノルウェーやカナダの奏者を迎えたことで幅広く自由な表現が可能に。中でもソフィア（ヴィオラ）とテューヴァ（ヴァイオリン）の優雅な弦楽は、静と動、光と影が交錯する“音のドラマ”を体現しています。瞬間瞬間に生まれる“生きた演奏”の迫力、演者の一挙手一投足と完全にリンクした楽曲展開、そして魂が胸に飛び込んでくるような情熱—ヴェスタノー・バンドの音楽はもはや演奏ではなく、心揺さぶる“ナニカ”なのです。北欧の自然と生命力、そして音楽の精髓が交差する、夏至にふさわしい響きをぜひ体感してください。



2025

6/20 金

7:00PM開演 **好評発売中**
(6:15PM開場) ※4歳以下入場不可

税込・全席指定 一般 ¥5,000 中学生以下 ¥2,000

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス

☎0798-68-0255 10:00AM~5:00PM
(月曜休 ※祝日の場合翌日)

スウェーデン伝統音楽の最高峰、ヴェスタノー劇場



深掘り!

北欧・スウェーデンの

夏至祭



私たちはなぜ北欧に惹かれるのでしょうか。

それは北欧が「西洋」に属しながらも、どこかそこから「はみ出している」ような、不思議な魅力を持っているからだと思います。日本人が親しんできた八百万の神々に通じるような感覚〈自然に宿る目に見えない存在の気配〉、北欧の文化や風習の中に今もふと現れるような気がしてなりません。太陽が沈まない夏至は、動植物が息づき、人間もまた、その光を全身で浴びて生きる季節です。命の絶頂期にあたるこの白夜に行われる夏至祭では、太陽への渴望と喜びがまっすぐに表現されます。花冠やメイポールの風習はキリスト教以前のアニミズムや自然崇拝に深く根ざしており、文化人類学的にも非常に貴重な伝統です。過酷さを増す日本の夏の中で、この北欧の“光を祝う祭り”は、どこか懐かしくも新しい、エキゾチックな魅力を放っているように思えるのです。

「カワイイ」だけじゃない、花冠の魅力。

夏至は日照時間が1年で最も長く、植物が盛んに光合成を行い、生命力が最も高まる時期です。花冠をかぶるのは、その満ちた自然の力を体に取り入れる意味があります。草花には癒しや魔除けの力があると信じられ、命の力を頭にのせることで、健康や幸運、恋や未来の幸福を願う行為として受け継がれています。



メイポールは生命の象徴?!

スウェーデンの夏至祭で立てられるメイポールは、豊穣や生命力の象徴であり、男性のシンボルとされる説もあります。柱と2つの輪は、命を生み出す力を象徴する形とも言われ、古くから祈りの意味が込められてきました。この時期に妊娠が増える傾向が報告されており、翌年3月に出生数が増えるという統計も、「ミッドサマーベビー」として文化的な話題になることもあります。



太陽のものがたり

北欧には、太陽をめぐる神話がいくつも語り継がれています。女神ソールが馬車で空を駆け、狼に追われながらも再び昇る姿は、光と再生の象徴。夏至はその太陽の力が最も満ちるときです。日本にも、天照大神をはじめ、太陽にまつわる神話や民話が各地に息づいています。国は違えど、太陽を命の源とし、その巡りを見つめてきた心は、どこかでつながっています。



白夜の音、日本で出会う奇跡。

夏至祭は、本来、自らの土地で太陽とともに祝う特別な日。今年、ヴェスタノー・バンドはその想いを胸に、大好きな日本でこの日を分かち合うことを決意しました。北欧の森に響く“夏至の音”を、日本の空の下でそのまま届けたい—その願いが海を越え、来日というかたちで実現します。この季節、この場所でその響きを体感できることは、まさに特別なめぐり合わせです。

Text by HarmonyFields

スウェーデンのロップスがやってきます!

開場: 6:15PM ~ (@ 阪急 中ホール) ※写真はイメージです。

「ロップス」とは、スウェーデンの蚤の市のこと。スウェーデンでは家庭の不用品を並べるロップスもあれば、プロが選んだ逸品が並ぶロップスも。「芸文ロップス」はもちろん後者! 北欧好きの目利きたちが心を込めて選んだヴィンテージ雑貨やファブリック、手作りの北欧菓子、伝統クラフト、手芸キット、絵本、インテリア小物、そして食器まで、ここでしか出会えない品々がずらりと並びます。心があたたまると同時に、まるで小さな北欧に迷い込んだようなときめきを味わいましょう。さらに音楽好きにはたまらない、北欧音楽のお宝CDもラインアップ! スウェーデンの人々が心待ちにする夏至の日に、北欧の魅力がぎゅっと詰まったロップスで、とっておきのお気に入りを見つけてみませんか?

三田陽子 Yoko Mita

北欧ビンテージショップ「Fukuya(フクヤ)」店主
「北欧のおやつとごはん」著者



関西・スウェーデン友の会



北欧ヴィンテージ「Bloem Mooi」



北欧の刺繍「グレンタ」



夏至・造花の花冠&ミニブーケ
「トントゥンカウッパ」



おやつシナモンロール
「フィーカ堂」

ウェルカム演奏 “開場中のお楽しみ”

ヴェストラ・カペル

スウェーデンの
伝統楽器
ニッケルハルパを
中心としたトリオ



ヴェスタノー・バンド Västana Band

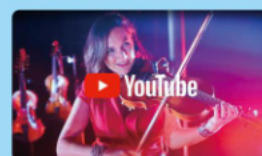
メンバー(写真左から)

セバスティアン・デュベ(ベース)
テューヴァ・フェーデン(ヴァイオリン&ヴォーカル)
マグヌス・スティンネルボム(ギター)
ソフィア・スティンネルボム(ヴィオラ)
ダーヴィッド・ラーション(ギター&キーボード)
クリスティアン・スヴェンソン(ドラムス&パーカッション)

PROGRAM

パワフルウーマン Övertinnan
鉄道員 Stinsen
ロムヤンのワルツ
(スウェーデンの伝統曲) Lomjansvalsen ほか
オリジナル曲から、
夏至に欠かせない伝統リズム
「ロルスカ」「ショッティス」「ワルツ」まで。

ヴェスタノー劇場での演奏風景



2025. 6/20 金 7:00PM開演(6:15PM開場) 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

一般 ¥5,000 中学生以下 ¥2,000 [税込・全席指定] ※4歳以下入場不可 **好評発売中**

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス ☎0798-68-0255 [10:00AM~5:00PM (月曜休 ※祝日の場合翌日)]

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 制作:ハーモニーフィールズ 後援:スウェーデン大使館